



Q.富山昌克先生と言えば「らん」のエキスパートでいらっしゃるんですね。胡蝶蘭の葉の先が黄色く変色してしまいました。どうしたら良いでしょうか？ (らんらんさん)

A.葉先が黄色く変色したときは根の先端が傷んでいることが考えられます。置き場の最低温度が15℃以下の寒い部屋で、15℃以下の冷水で水やりを1週間し続けたときに起こりやすくなります。変色が始まると水やりをすればするほど、病気が進んでいきますので、水やりを止め、鉢内を乾燥させます。黄色から褐色へ、やがて黒色に変色してきます。黒色になった段階で、炭疽病^{たんびょう}が発症していますので、変色した部位に触れないように、健全な緑色の葉を残した位置でカットしてください。切りとった葉先には病原菌が潜んでいますので、生ごみとして廃棄してください。市販の園芸用殺菌剤を表示の倍数にあわせて希釈して散布しておけば、再発防止になります。



Q.千両の花は咲くのですが実が落ちてしまいます。原因は何なのでしょう？教えて下さいませ。 (奥田さん)

A. センリョウは強すぎる日光が苦手、強光下では乾燥から実がなっても落ちてしまうことがあります。半日当たりを好むため、日光が当たる場所で管理する場合は、寒冷紗^{かんれいしや}やヨシズで日よけをします。成長期に葉色が薄黄緑色に変色したり、葉焼けして茶色くなっているときは、日光に当たりすぎなので適切に遮光してみましょう。



植物の機能をうまく使いこなしたい！という初心者を対象に、様々な植物を紹介するコーナーです。不定期で連載します。



第5回 皆さんからの質問に答えます！

6月から約2か月間、トミー先生への質問を募集しました。たくさんの応募ありがとうございました。今回は次の質問について答えていただきます。



Q.紫陽花なんですけど、花が、咲かずに葉っぱばかり、大きくなるのですが、どうしてなのかわかりません。ここ何年も花をみていません。 (ミエティレッドさん)

A.花が咲かない理由は、剪定する時期が遅く(8月以降)、翌年開花するための花芽を切り捨てていることが原因だと思います。花が終わった枝をすぐに2~3節残してカットします。その際に細い枝や老化した枝なども付け根からカットしておきます。通風条件や採光条件がよくなりますので、込み合った枝も必ずカットします。カットしたところから2本の新しい枝が伸長していくので、大切に育てましょう。他に開花しない原因としては、極端な日照不足や夏から秋にかけての生育不良があげられます。9月に花芽分化を促すリンカリ肥料を株元に適量施しておきましょう。



このほかにも、キャベツ、シクラメンなど、たくさんの植物についての質問にも答えていただきました。詳しくは市ホームページで紹介しています。是非ご覧ください。

